

平成27年度

事業報告書



一般社団法人

電動車両用電力供給システム協議会

Electric Vehicle Power Supply System Association : E V P O S S A

平成 27 年度 事業報告

当協議会は平成 24 年 4 月設立来、活動の主目的である「電動車両用電力供給システムにかかる諸課題を議論し、必要な取り組みを実施する」を目的に積極的かつ円滑な事業運営に取り組んできました。

特に平成 27 年度では、平成 26 年度に策定した「EVPOSSA インフラビジョン」の具現化に向けての中長期活動テーマの策定、他団体要請の関連検討会・委員会への参画、行政（地方自治体含む）が主催する検討会及び協議会等への参画で EVPOSSA の認知度向上、AC 普通充電器インフラの普及に向けて、EVPOSSA 全体で積極的な活動に努めてきました。

このような中、平成 27 年度では平成 26 年度補助予算「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」が執行され、当協議会では国、地方自治体、事業執行団体（一般社団法人 次世代自動車振興センター）と官民連携して普通充電器 充電インフラの普及に向けて、会員企業の協力により普及活動に取り組んできました。

その結果、当協議会が独自に行っている会員企業を対象にした「普通充電設備の出荷自主統計」の平成 28 年 3 月末現在では、充電ケーブル搭載普通充電器（Mode3）が前年より約 199.7%の約 2 倍となりました。これも官民連携した充電インフラ普及に向けた取り組みの成果であります。

また、平成 27 年度の主な活動成果の例を挙げますと

企画運営委員会では、充電器のあらたな価値創出に向けて、新ビジネス創出 WG を発足、三重県伊勢志摩サミット推進本部へ【平成 28 年 5 月開催の「伊勢志摩サミットの成功と三重県の発展に EV 充電インフラ普及貢献】をテーマにビジネスモデルの提案書を作成、提出した。

技術課題検討部会では、行政及び関係団体の検討会、委員会に積極的に参画し、メンバーを派遣、特に内線規程改定では V2H の内線規程化の改定文案などの策定に貢献した。

普及促進部会では、EVPOSSA 設立来初めて展示会【EV Japan2016「EV・HEV 駆動システム技術展」】に出展し、EVPOSSA の活動及び認知度向上に貢献した。

当協議会の委員会、部会の種々の活動により、上記成果を挙げる事ができました。

会員数を見ますと設立当初 8 社 1 団体であったものが設立 4 年（平成 28 年 3 月 31 日現在）で 26 社 2 団体まで拡大し、当協議会の活動への期待が着実に高まっているものと確信しております。

これらの成果を上げることができましたのも、日頃協議会の委員会・部会活動に積極的に参画いただいている会員企業の皆様や、関係各位のご支援によるものであります。

今後ともこれらのご支援に報いるべく、当協議会では安全・安心・互換性が確保された普通充電器の普及促進に向けて各種活動を更に加速・充実させてまいります。

本事業報告書においては、上記の活動の紹介を始め、取り組みの状況と成果を報告いたしております。

当協議会会員の皆様はもとより関係各位のご理解を頂き、これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも従来以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 理事会・総会開催状況

(1)【第11回理事会】平成27年5月22日(金)

航空会館5階/504会議室

審議事項

第1号議案 平成26年度事業報告書(案)

第2号議案 平成26年度決算報告書(案)

第3号議案 EVPOSSAとCHAdEMO協議会の新たな枠組み検討着手
することについて

第4号議案 平成27年度定時総会招集

(2)【平成27年度定時総会】平成27年6月8日(月)

航空会館9階/901会議室

審議事項

第1号議案 平成26年度決算報告書(案)

第2号議案 EVPOSSAとCHAdEMO協議会の新たな枠組み検討着手
することについて

報告事項

報告事項1 平成27年度事業計画書

(3)【第12回理事会】平成27年11月26日(木)

航空会館2階/204会議室

審議事項

第1号議案 特定個人情報取扱規程制定及び関係書類の整備

報告事項

平成27年度上期運営状況

報告事項1 企画運営委員会活動状況の報告

報告事項2 技術課題検討部会活動状況の報告

報告事項3 普及促進部会活動状況の報告

報告事項4 会員入会状況の報告

報告事項5 上期特別支出に関する報告

報告事項6 上期収支予算書執行状況の報告

報告事項7 EVPOSSAとCHAdEMO協議会の新たな枠組み検討着手
進捗状況

報告事項8 理事・監事、委員会・部会役職者任期満了及び事務局職員
出向期間満了

(4)【第13回理事会】平成28年3月23日(水)

航空会館2階/204会議室

審議事項

- 第1号議案 平成28年度事業計画書(案)
- 第2号議案 平成28年度収支予算書(案)
- 第3号議案 企画運営委員会及び検定委員会 委員長の選任
- 第4号議案 事務局長の選任
- 第5号議案 企画運営委員会および部会に関する規程改定
- 第6号議案 出張旅費規程改定及び海外出張旅費規則の追加制定
- 第7号議案 職務権限規程制定
- 第8号議案 新規入会(2社)
- 第9号議案 会員種別変更

報告事項

- 報告事項1 部会役職者の選任報告
- 報告事項2 利便性検討結果報告書の発行

2. 委員会・部会活動状況

(1)【企画運営委員会】

当協議会の事業目的を遂行する理事会の補佐機関として、理事会提出議案(事業計画書案、収支予算書案、規程制定、改訂案等)の検討、協議会組織・運営に関する検討等で平成27年度には11回開催、また、企画運営委員会直下に「充電器のメリット、新たな価値需要創出に向けての新ビジネス創出WGを立上げ9回開催」、「ECHONET-Lite 第三者認証仕様検討WGを立上げ4回開催」し、以下の活動を行った。

中長期の活動計画の策定

EVPOSSAビジョンに基づき、中・長期活動テーマ毎に小WGを発足し活動内容の策定を行った。

- A. ICTとの連携による充電器の新たな価値創出
- B. 充電器の設置事業者への利益・メリット創出
- C. 充電器の利用状況を“見える化”する仕組みづくり

上記A～Cのテーマを包含すべく一本化し、充電器のメリット、新たな価値需要創出に向けて、新ビジネス創出WGを発足した。

平成26年度補正「次世代自動車充電インフラ整備促進事業費」満額執行に向けて、三重県サミット推進本部へ【平成28年5月開催の「伊勢志摩サミットの成功と三重県の発展にEV充電インフラの普及貢献」でビジネスモデルの提案書を作成し提出した。

環境へのさらに低負荷な、FCV燃料電池車への対応の検討
関係団体へのシンポジウムへの参加および自治体等関係部局への訪問、
関係会議への参加等により、技術動向、取り組み等を注視した。
EVPOSSAとCHAdeMO協議会の新たな枠組み拡大の検討
EVPOSSAとCHAdeMO協議会において、両団体の幹部会メンバーが参
加する2協議会を5回開催し検討を行い、今後両団体に共通する個別の課
題の検討、情報共有の場とすることを決定した。

審議事項等について

「企画運営委員会および部会に関する規程」を部会役職者における副
部会長を2人置くことができるようにし、部会運営が迅速にできるよ
うに規程改定の審議を行った。

代表理事および事務局長の職務権限の明確、業務の円滑推進のため、
「職務権限規程（案）制定」の審議を行った。

出張旅費規程の改定および海外出張旅費規則の追加制定審議を行った。
平成28年度事業計画書(案)の策定および平成28年度収支予算書(案)
の策定と審議を行った。

企画運営委員会委員長および副委員長の任期満了に伴い、委員長(案)
および副委員長(案)の審議を行った。

事務局長の任期満了に伴い、事務局長(案)の審議を行った。

部会役職者任期満了に伴い、部会役職者の選任を決定した。

経済産業省「EV・PHVロードマップ検討会」への参画と参加メンバ
ーの人選を決定した。

経済産業省「エネルギー・アグリゲーション・ビジネス検討会」への
参画と参加メンバーの人選を決定した。

一般社団法人日本電気協会「低圧分科会第3小委員会」への参画と参加
メンバーの人選を決定した。

一般社団法人電気設備学会開催「普通充電器EMC環境調査委員会」
および「電動車両用電力需給設備の課題等調査委員会」の参画審議と参
加メンバーの人選を決定した。

大阪府次世代自動車普及推進協議会および傘下のEV部会への参画と
参加メンバーの人選を決定した。

中国自動車技術研究センター（CATARC）意見交換会への参画と
参加メンバーの人選を決定した。

ECHONET-Lite 第三者認証仕様検討 WG

経済産業省および一般社団法人エコーネットコンソーシアムの要請によ
り、WGを立上げ、4回開催し、エコーネット重点8機器（電気自動車用

充電器)における「電気自動車用放電器及び充電器」の「機器オブジェクト詳細規定(案)」・「アプリケーション通信インターフェース仕様書(案)」・「認証試験仕様書(案)」を策定し、エコネットコンソーシアムへ提出した。

V2H 系統連系認証 JWG

一般財団法人電気安全環境研究所において、平成 27 年 8 月 28 日付で【V2H 用パワーコンディショナーの系統連系認証「電気自動車用搭載蓄電池」(直流接続型)用系統連系保護装置等の認証】の開始されたのを受け、現状の課題および今後の認証等について、情報共有をはかるべく WG を 1 回開催した。

(2)【技術課題検討部会】

電動車両用電力供給システムのあり方、課題、新技術対応等を検討する部会として、平成 27 年度には部会を 12 回、利便性検討 WG を 6 回開催し、以下の活動を行った。

第三者認証制度の課題解決と会員の認証取得の推進

互換性確保の取り組み継続

1) トラブル情報の収集を行うことにより、互換性問題発生への注視を行った。

認証取得推進

1) 外部各種委員会への参加による情報収集と会員へのフィードバックを行い、充電器認証の有効性の啓蒙活動を行った。

< 外部参加委員会 >

・61851 - 1 TG (一般財団法人日本自動車研究所(以下「JARI」という。))

・電池充電標準 SWG (JARI)

・ワイヤレス電力伝送普及インフラシステム

(産業競争力懇談会)

普通充電器普及促進に向けた関連団体との連携活動の推進

各種規格、基準等の改定に伴う意見募集への対応

1) 公共建築工事標準仕様書の改定にともなう意見募集を行った。

(国土交通省)

2) 内線規程の改定にともなう改定文案作成依頼への対応を実施した。

(一般社団法人日本電気協会)

各種 JWG への積極的な参加により、普通充電器普及促進へ貢献

< V2H 改定 JWG >

1) V2H 関連の内線規程改定に伴い、低圧分科会第 3 小委員会および同 WG に JWG 副主査を派遣した。

< V2H 系統連系認証 JWG >

- 1) V2H 系統連系認証 JWG への委員の派遣し活動支援を行った。
 - ・一般財団法人電気安全環境研究所において、平成27年8月28日付で、【V2H 用パワーコンディショナーの系統連系認証「電気自動車用搭載蓄電池」(直流接続型)用系統連系保護装置等の認証】の開始系統連系認証制度の運用が開始された。

充電インフラビジョンに基づく将来への備えの実施

企画運営委員会指示によりビジョンに基づく以下の検討を行ない、報告をした。

< 利便性検討 WG >

- 1) AC 普通充電器 利便性検討 WG 報告書の策定を行った。
 - ・部会で検討対象項目を抽出後、WG を設置し、具体的な内容の検討を実施・報告書としてまとめ、企画運営委員会に公開方法を含め上程した。

< 充電器における通信規格の統一 >

- ・普及促進部会の「統一化範囲」の検討結果を受け、通信規格の統一化を議論・用語の定義としてまとめ、企画運営委員会に公開方法を含め上程した。

< 各種工事規定の調査と改定要望の事前検討 >

- ・充電器普及の障害となっている工事規定(電気設備の技術基準の解釈、内線規程)等の調査を実施し、各改定タイミングでタイムリに提案できる準備を行った。今回、洗い出された内線規程への改定提案に対して、V2H関連の内線規程改定にあわせ提案を行った。

会員のための情報発信の充実

品質トラブル情報の収集を行い、技術的課題についての対応案の検討を実施した。

- 1) 品質トラブル情報を 2 件収集(コネクタ関係)し、会員に注意喚起を行った。
- 2) 普及促進部会と連携し、統一フォーマットにて両部会での情報共有を開始した。

(3)【普及促進部会】

電動車両用電力供給システムにかかる、安全・安心・互換性が担保された普通充電器の普及を促進する部会として、平成27年度には12回開催し、以下の活動を行った。

第三者認証制度の普及及び会員企業による認証取得の推進

JARI 認証制度の認知度向上

EVPOSSA ホームページ上に製品リストを掲載。安全性・互換性を第三者が確認する認証制度の紹介として JARI 認証センターにリンクできる仕組みを構築した。

JARI 認証制度（検定受検含む）の補助金認定要件化への円滑な対応
JARI 認証制度の手順を会員各社のホームページ上からリンクするよう情報共有した。

EVPOSSA 認知度向上に向けた広報活動の充実

EV 関連展示会等への出展

1) 第 7 回 EV・HEV 駆動システム技術展に出展し、EVPOSSA の認知度向上を図った。

EVPOSSA 会員企業が出展する展示会 などで EVPOSSA の PR

1) 出展ブースにおいて EVPOSSA の活動紹介パネル、チラシなどで PR を実施した。

2) EVEX 展示会でのパネルディスカッションに登壇し、EVPOSSA の取組を紹介した。

マスコミ等の取材対応の実施

1) アイティメディア(株)の取材対応を行い、MONOist に記事が掲載された。
経済産業省、自治体が主催する連絡会等への参加による EVPOSSA の更なる認知度の向上

1) 経済産業省主催 EV・PHV タウン構想検討会

2) 中国電気自動車充電関連制度ワークショップ

3) 大阪府主催 大阪府次世代自動車普及推進協議会

情報発信の充実

行政(国、自治体等)、関連団体が主催するイベント情報などの情報発信

1) 関係団体からのイベント情報を適宜会員に通知した。

ホームページの充実

1) ホームページに情報量を増やす為、充電マップ、補助金解説、用語集、FAQ に関してページを作成し、コンテンツを追加した。

2) ホームページアクセス件数の向上

現状のネット環境に合ったホームページの形態の検討および誰に向かって、どのような情報を発信するかの検討を行った。

その他

他団体等との連携・情報共有活動

1) 外部団体・企業の招聘、会員トピックスの紹介、外部見学会の実施
・今後の製品・サービスの開発に役立てる情報の収集を目的に招聘 3 社、見学 1 ケ所を実施した。

2)一般社団法人次世代自動車振興センター(以下「NEV」という。)との定期情報交換会の実施

・補助金情報などについて、適宜情報交換を実施した。

「充電まっぷ」位置情報の提供

1)充電インフラ公開情報の基準作成と NEV との充電施設情報の基本
3 情報の公開に合意し、EVPOSSA ホームページで充電施設情報として公開を開始した。

2)EVPOSSA ホームページより、充電施設情報を活用した民間サービス事業者の充電施設位置情報検索サイトにリンクできる仕組みを構築した。(全国充電まっぷ WEB 版)

普通充電器トラブル事例の情報発信

1)会員会社から集めたトラブル情報をリスト化し、EVPOSSA ホームページにて会員内で閲覧できるようにした

2)一般のユーザーが必要とし、かつ自動車会社などに影響のない情報を EVPOSSA ホームページ FAQ に掲載した。

平成 26 年度補正予算に対応したホームページコンテンツの作成

1)平成 26 年度補正予算に対応したホームページコンテンツを作成した。

3. 会員の状況

会員数(平成 28 年 3 月 31 日)

幹事正会員 6 社 1 団体

一般正会員 19 社 1 団体

賛助会員 1 社

	幹事正会員	一般正会員	賛助会員	小 計
関東地区	4	16	1	21
東海地区	2	1	0	3
関西地区	1	2	0	3
九州地区	0	1	0	1
合 計	7	20	1	28

以上